



～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～

『防災・減災シンポジウム in 札幌』を開催しました

◆実施概要

自助・共助・公助のバランスがとれた「災害に強くしなやかな社会づくり」をテーマに、自助・共助を担う地域住民、企業、ボランティア、関係団体。公助を担う国・地方公共団体の防災担当者を対象としたシンポジウムを開催しました。当日は、約210名が参加し、北海道胆振東部地震の被災地の状況や平時の備えについて、専門家にご講演いただいたほか、パネルディスカッションでは、多様な主体との連携や自助・共助・公助のバランスがとれた地域づくりについて、お話しいただきました。



- 参加** 約210名
- 対象** 地域住民、企業、防災関係機関の皆様
- 日時** 平成31年3月15日(金) 14:00～17:00
- 会場** 札幌第1合同庁舎 2階講堂

◆第1部 基調講演

『胆振東部地震の被災地から』

定池 祐季 氏 東北大学災害科学国際研究所 助教

2013年から厚真町の防災教育に関わり、胆振東部地震発災後、継続的に被災地支援に関わっている立場から、発災以降の被災地の状況をお伝えし、被災地支援、平時の備えについて、ご講演いただきました。



◆第2部 パネルディスカッション

『災害から身を守る、命を繋ぐ～北海道の暮らしと防災』

【パネリスト】

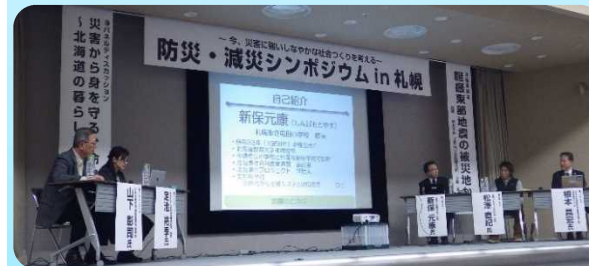
- ・新保 元康 氏（札幌市立屯田小学校 校長）
- ・松澤 直紀 氏（支笏ガイドハウスかのあ 代表）
- ・根本 昌弘 氏（日本赤十字北海道看護大学看護薬理学領域・教授
災害対策教育センター長）

【コメンテータ】

- ・定池 祐季 氏（東北大学災害科学国際研究所 助教）

【コーディネータ】

- ・山下 彰司（北海道開発局 事業振興部 調整官）



災害から自分や家族、地域を守るためにはどうしたらよいのか。防災意識や地域防災力を高めるための方策について考えていただきました。